

平成27年3月11日

軽井沢町議会

議長 篠原 公子殿

報告者 川島 さゆり

地方議員研究会「自治体の予算の見方」

1, 研修日程

平成27年2月4日(水)

2, 研修先及び目的

- (1) 東京都中央区アットビジネスセンター東京八重洲通りにて
- (2) 予算の見方の研修

3, 研修参加者

川島 さゆり

4, 研修内容

講師 元・広島県廿日市市副市長 自治体経営コンサルタント 川本 建志氏

◎自治体予算の見方

- ・予算書の形(款、項は、議決のいるもの。目、節、細節は議決のいないもの)
- ・節の説明は、普通会計決算の性質別経費
- ・事業(ソフト)の財源構成は、町単なのか、補助事業なのか、単独事業(特例債事業)なのか、事業ごとに見ること大事。事業(ハード)の財源構成は、単独事業なのか補助事業なのか
- ・予算は一般財源で決まる。一般財源の規模が事業の規模、量と予算規模を決める
- ・決算カードを見て予算審議に臨むこと
- ・予算は事業の束で見る
- ・基準は一般町民が見てもわかる資料(事業シートの活用)事業ごとに予算も決算もホームページにのせる。PDCAチェック評価の為に作った(廿日市市)
- ・主要事業は事業シートでPDCAを回す(予算→執行→評価→改善)評価から決算審査しまた改善へ(議会は第三者なので町長へ提案していく。提案をどうしたか議会報告会で行っていく)

◎考察

行政の執行側にいた川本氏が、予算、決算の事業シートで市民の誰でも分かりやすく、だれでも見ることができるホームページを活用した点に着目したい。PDCAチェックでの機能強化はもちろん議会は常に提案をすべきであり、町民への報告義務を忘れてはならない。

